

# Weekly コラム

令和 8 年 2 月 19 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

## 活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

## 基準地価発表 4年連続で平均が上昇

なお、地価が最も高かったのは 20 年連続で「明治屋銀座ビル」(東京・中央区銀座 2 丁目)。1㎡当たり 4690 万円で、前年から 480 万円上昇しました。

記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

国土交通省はこのほど、2025 年の「基準地価」を公表しました。全国の平均地価は前年比 105%プラスで、コロナ禍で落ち込んだ 21 年から 4 年連続で上昇しています。

基準地価は、今年 7 月 1 日時点での全国の土地の値段を都道府県が調査したもの。土地取引や固定資産税評価の目安になり、1 月 1 日時点の地価を調べて国交省が発表する「公示地価」を補完するものともいわれています。

全国の平均地価の伸び率 1.5% はバブル崩壊後の 91 年の 3.1% 以来の高い水準となります。用途別に見ると、住宅地は前年比 1.0% で、商業地は 2.8% の伸びをみせました。

商業地のうち東京圏が 8.7%、大阪圏が 6.4% と大きく上昇したほか、札幌・仙台・広島・福岡の「地方四市」でも 7.3% のプラスとなっています。地方圏でも上昇が目立ち、主要都市を除いた地方圏の商業地は、バブル期以来 32 年ぶりに上昇に転じた 23 年から引き続き上昇を維持したことになります。

国交省は「大手半導体メーカーの工場が進出する地域では、関連企業も含めた従業員向けの住宅需要のほか、関連企業の工場用地や店舗等の需要も旺盛となっており、住宅地、商業地、工業地ともに高い上昇となっている」と分析しています。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、[skc-soudan@skc.ne.jp](mailto:skc-soudan@skc.ne.jp) まで空メールをご送信ください。また、FAX 不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。